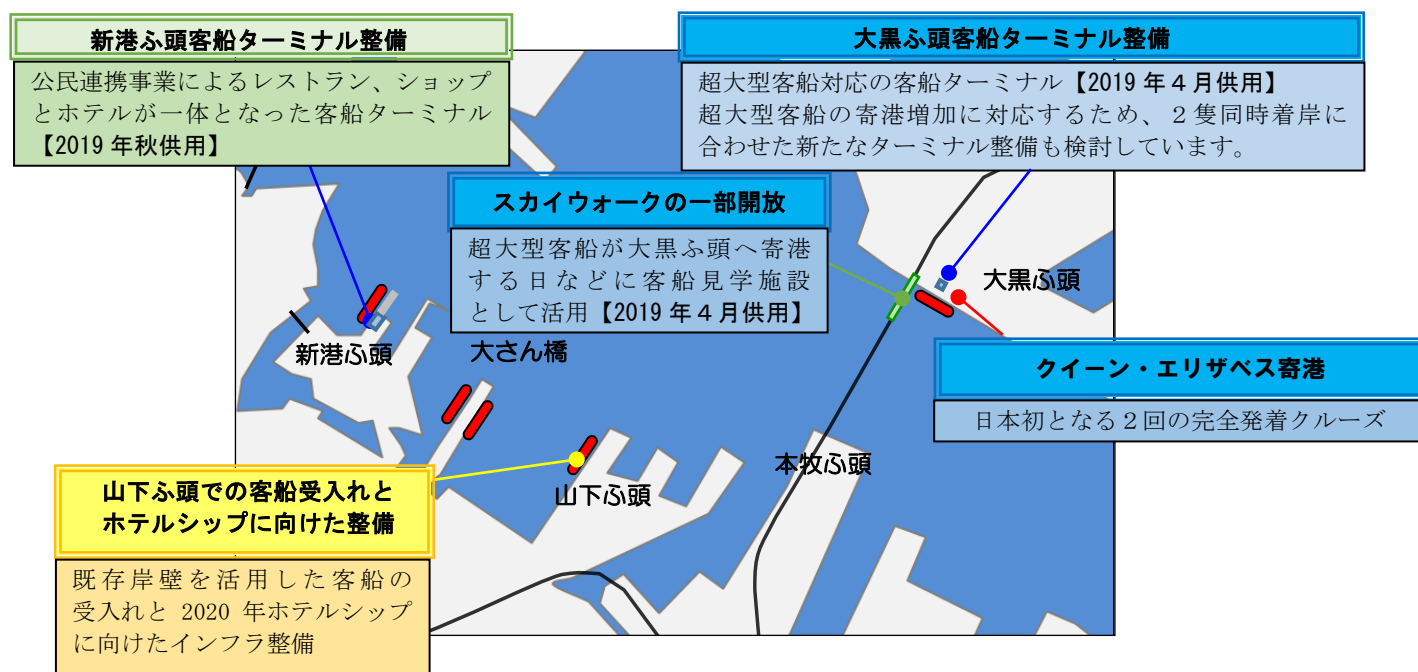


ワールドクラスのクルーズポートに向けて 横浜港がさらに飛躍します

～ 今年、大黒ふ頭、新港ふ頭で新たな客船ターミナルを供用開始、日本初 4 隻同時着岸も ～

横浜市は、「国際旅客船拠点形成港湾」として、国際クルーズ拠点に指定されるなど、日本を代表するワールドクラスのクルーズポートに向けた取組を進めています。2019 年の横浜港の客船寄港数は過去最高の約 190 回の予定となり、特に大黒ふ頭を利用する超大型客船は昨年から倍増となる 22 回となります。2019 年も横浜港のさらなる飛躍と賑わい創出に向けて、様々な取組を進めていきます。



1 客船受入機能の更なる強化

4 月に大黒ふ頭、秋に新港ふ頭で新たな客船ターミナルの供用を開始します。これにより、大さん橋、大黒ふ頭、新港ふ頭、山下ふ頭、本牧ふ頭の 5 つのふ頭で最大 7 隻の客船が受入可能となります。ゴールデンウィークには日本初の「発着クルーズ 4 隻同時着岸」が実現するなど、横浜港が東アジアの「発着クルーズの拠点港（※）」として大きく飛躍します。

（※）2017 年アジアにおける横浜港の発着クルーズ回数 6 位（クルーズライン国際協会による）

■大黒ふ頭客船ターミナル（CIQ 施設）（2019 年 4 月供用）

広大な背後地に加え、首都高速道路 IC に近く、羽田空港から約 20 分。

好評のクルーズ期間中の車両をお預かりするドライブ＆クルーズも拡大していきます。

【面積】約 4,500 m²（CIQ 棟、待合棟）



ターミナル工事の様子（12 月）

■新港ふ頭客船ターミナル整備（2019 年秋供用）

CIQ 施設とレストラン、ショップ、ホテルが一体となった客船ターミナルです。東日本初の客船ターミナル内ホテルが新たなクルーズスタイルを提供します。

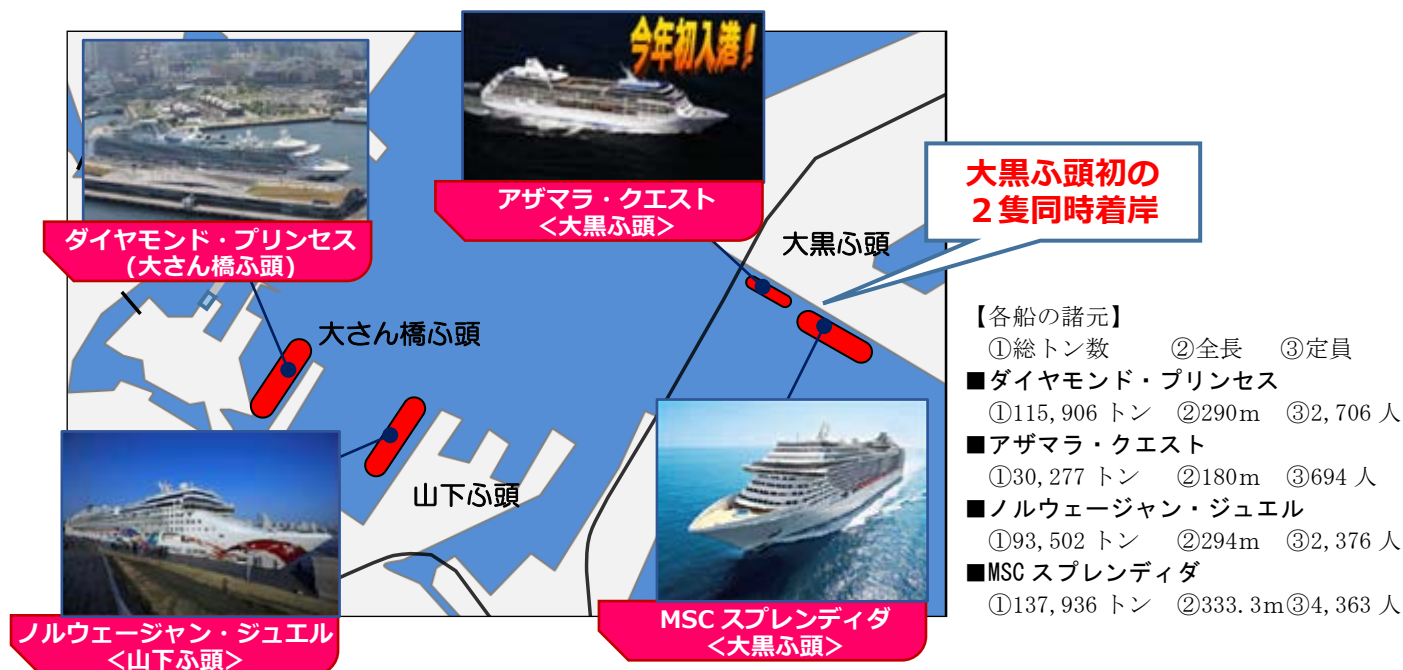
【施設概要】

- 1 階：CIQ 施設、レストラン
- 2 階：レストラン、ショップ
- 3～5 階：ラグジュアリーホテル



■発着クルーズ 4 隻同時着岸（日本初）について

4 月 27 日（土）には、全ての外国客船が横浜発着クルーズとして、3 つのふ頭に 4 隻同時に着岸します。大黒ふ頭での初めての 2 隻同時着岸、さらに、同一港に発着クルーズが 4 隻同時となるのは日本初となります。



2 客船寄港を捉えた賑わいづくり

4 月には 2016 年以来 3 年ぶりに世界で最も有名な客船「クイーン・エリザベス」が大黒ふ頭に寄港し、日本初の完全乗下船による 2 回の発着クルーズを実施します。更に、スカイウォークを客船の見学施設として一部開放するなど、市民の皆様にも楽しんでいただける取組を実施していきます。

■クイーン・エリザベスの寄港（2019 年 4 月～5 月）

【発着情報】

- 4 月 19 日（金）～4 月 28 日（日）日本一周クルーズ 10 日間
- 4 月 28 日（日）～5 月 5 日（日）ゴールデンウィーク・クルーズ 8 日間
- 5 月 5 日（日）～5 月 21 日（火）横浜～バンクーバー 17 日間
- ※4 月 19 日（金）、28 日（日）、5 月 5 日（日）の 3 回、横浜港への寄港

【関連イベント】

クイーン・エリザベス寄港日を中心に、スカイウォークや岸壁から客船を間近に見られる大黒ふ頭内見学会を実施します。（ふ頭内見学会は 2009 年以来 10 年ぶり）



■スカイウォークの一部開放（2019 年 4 月～）

超大型客船が大黒ふ頭に寄港する日や横浜ベイブリッジを通過して大さん橋に入港する土日祝日に入場ができます。

【施設概要】

スカイプロムナード：320m

スカイラウンジ：横浜港を 360 度見渡せる展望施設



スカイラウンジ内



スカイラウンジからの眺望

■山下ふ頭の活用とホテルシップに向けた整備

【山下ふ頭の活用】

- ・客船受入機能の拡大（2019 年 4 月～）

既存の山下 2、3 号岸壁を活用した客船受入を行います。

【ホテルシップに向けた整備】

ホテルシップ実施に向けて、岸壁補修や下水道整備などインフラ整備を進めます。



写真提供：プリンセス・クルーズ
ホテルシップとして使用されるサン・プリンセス

3 クルーズ客船の寄港数増を捉えた誘客推進

横浜港は、天然の良港であるだけでなく、高速道路へのアクセスが良く、羽田空港から 20 分と至近で、「フライ&クルーズ」に最適です。ラグビー・ワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを控え、「フライ&クルーズ」による海外からの乗船客をお迎えするため、引き続き、施設整備の強化に取り組むとともに、発着クルーズ旅客の横浜前泊・後泊のプロモーションや、観光資源の活用による回遊性向上など、アフタークルーズの観光コンテンツの充実にも取り組んでいきます。



お問合せ先

港湾局客船事業推進課長	林 総	Tel 045-671-7237
港湾局賑わい振興課担当課長	蝦名 隆元	Tel 045-671-2885